科名 呼吸器内科

対象疾患名 扁平上皮癌

プロトコール名 キイトルーダ+Triweekly PTX+CBDCA(呼吸器)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	 21
1	点滴注	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ 残破棄可	1	
2	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ	0.75mg	30分かけて	1	
			デキサート注	3.3~19.8mg			
			ファモチジン注	20mg			
3	点滴注	側管	ネオレスタール注	10mg	30分かけて	1	
			生理食塩液	50mL			
4	点滴注	側管	キイトルーダ	200mg/body	30分かけて	1	
			生食	100mL	専用ルートJY-PF340P52使用 投与前後生食フラッシュ		
5	点滴注	側管	パクリタキセル	200mg/m <sup>2</sup>	3時間以上かけて 専用ルートJY-PF340P52使用使	1	
			生理食塩液	500mL	用 ※壊死性抗がん剤		
6	点滴注	側管	カルボプラチン	AUC6	1時間以上かけて	Ţ	
			生理食塩液	250mL	「時間以上がけて		

## ★1クール=21日

## ~MEMO~

催吐レベル3(30%~90%)

day2~3にデカドロン錠を朝,昼食後に4mg/回

4コースまで

くパクリタキセル〉

禁忌:薬剤アレルギーの既往の多い症例.アルコール含有.アルコールアレルギーの確認要 アレルギー好発時期:初回.2回目(投与開始から10分間はベッドサイドを離れない)

PVCフリーかつフィルター付き(回路名:JY-PF340P52)を使用

薬剤特徵:1mL=20滴⇒滴下数1.6倍(90滴/分×3h)

<カルホ<sup>\*</sup>プ<sup>°</sup>ラチン>

投与量計算:AUC6=6x(Ccr+25)

アレルキー好発時期:8回目以降

## 〈キイトルーダ〉

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)(回路名:JY-PF340P52)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。